

なすしおばら 社協だより

平成31(2019)年4月20日発行

第75号

こころまる ふれあいの旅!!
～共生社会に向けて～



今回は旧寺子小学校に行ってきたよ。
4年前に閉校となったけど、地域の居場所や情報交換の場として地域の方々が集まっていたよ。
来ている人みんなが主役になって生きいきした表情で活動していたよ☆

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。
詳しくは社協総務課までご連絡ください。



平成31(2019)年度事業計画

基本方針

全国的に少子高齢化が進み単身世帯の増加や核家族化による社会的孤立者、生活困窮者の増加など福祉ニーズはますます多様化・複雑化しています。こうした中、地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の役割は一段と大きくなることから、地域福祉活動計画を基に地域の課題を解決すべく新たな仕組み作りを進めるとともに、困難な福祉ニーズにも積極的に取り組んでまいります。

今、国で進めている地域共生社会の実現とは、本会がこれまで行ってきた地域住民助け合い事業をさらに幅を広げたものであるため、これまで以上に行政や関係団体等との連携強化を図り、その実現に向けて以下の6つの重点目標を掲げ、各事業を展開してまいります。



重点目標

1 地域福祉活動計画の推進

地域における様々な福祉課題を解決するために、市民や関係団体と連携を図りながら「地域福祉活動計画」を実行してまいります。あわせてこの計画の主

役である市民や関係機関の本計画に対する理解を深めるようホームページやその他様々な機会を通じて本計画の周知を図ってまいります。また、計画・実行・評価・見直しを繰り返すPDCAサイクルの考えのもと、「那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」とともに、計画における各取り組みの進捗状況について評価し、計画を実行してまいります。

2 地域住民助け合い事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、市民による見守りや生活支援等の助け合いによる地域づくり及び緊急時や災害時に適切に助け合える体制の構築を図るとともに、高齢者の社会参加の促進のため、高齢者自身が助け合いの担い手として活躍できる地域づくりを推進します。

平成31（2019）年度は、15ヶ所の公民館エリアで見守り活動などの仕組みづくりを支援します。



3 ボランティアセンターの運営強化

ボランティアセンター本所とボランティアセンター黒磯で、「地域に開かれた存在」としてボランティアの育成、ボランティア団体の活動支援、連絡調整、情報提供などを行い市内のボランティア活動の活性化を図ります。



4 福祉サービス利用を支援する事業の充実

日常生活自立支援事業、生活困窮者自立相談支援事業、指定特定相談・障害児相談支援事業を推進し、要支援者が地域で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と連携を図りながら、要支援者に寄り添い課題解決に向けて支援します。

5 社協発展計画の推進

平成31（2019）年度から実施する発展強化計画に基づき、地域福祉活動計画を実現させ、より一層の地域福祉推進に努めます。



6 社会福祉協議会の理解の促進

職員が地域に出向き本会の活動を説明し、社協の活動をひとりでも多く市民、事業所等に理解していただき会員の加入促進を図り、地域福祉事業やボランティア推進事業の充実につなげていきます。



平成31(2019)年度予算

(単位：千円)

○収入

勘定科目（大）		予算額
事業活動による収支	会費収入	12,446
	寄附金収入	3,018
	経常経費補助金収入	187,568
	受託金収入	79,790
	貸付事業収入	3,540
	事業収入	4,270
	負担金収入	832
	介護保険事業収入	28,129
	就労支援事業収入	10,509
	障害福祉サービス等事業収入	117,664
	受取利息配当金収入	1,073
	その他の収入	12,357
その他の活動による収支	基金積立資産取崩収入	47,622
	積立資産取崩収入	160
	事業区分間繰入金収入	5,328
	拠点区分間繰入金収入	6,135
	サービス区分間繰入金収入	50,569
	その他の活動による収入	26,073
前期末支払資金残高		729
合 計		597,812

○支出

勘定科目（大）		予算額
事業活動による収支	人件費支出	366,480
	事業費支出	11,476
	事務費支出	56,738
	就労支援事業支出	10,509
	貸付事業支出	3,540
	共同募金配分金事業費	8,715
	助成金支出	15,616
	負担金支出	150
施設整備等による収支	ファイナンス・リース債務の返済支出	847
	基金積立資産支出	28,191
	積立資産支出	16,701
	事業区分間繰入金支出	5,328
	拠点区分間繰入金支出	6,135
	サービス区分間繰入金支出	50,569
	その他の活動による支出	12,491
予備費支出		4,326
合 計		597,812

訪問介護事業廃止のお知らせ

本会では、平成31年3月31日をもちまして訪問介護事業（介護保険・障害福祉サービス）が廃止となりました。

平成12年の介護保険制度創設以前から本事業を実施し、みなさまには長年にわたり、ご支援とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

今後も本会では、「人がつながり新しい力が湧きあがるまち」の実現に向け、みなさまとともに、地域福祉の推進に努めてまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





第13回那須塩原市社会福祉大会

主催：那須塩原市社会福祉協議会・那須塩原市

1月26日(土)三島ホールにおいて「第13回那須塩原市社会福祉大会」が開催されました。

第1部式典では、永年にわたり社会福祉の増進に貢献された個人・団体や篤行・善行児童生徒、高額寄附者等へ表彰状並びに感謝状贈呈が行われました。



▲講演の様子

また第2部講演では、日本ギニア友好協会広報官オスマン・サンコンさんより、「イチ、二、サンコンの支え愛、助け愛」と題し講演会を行いました。大家族で育った経験やご自身の子育ての経験を基に家族の絆の大切さ、思いやりの心をもつことなどについて約1時間半に渡り、お話をいただきました。



▲式典の様子

那須塩原市社会福祉協議会会長表彰

(敬称略・50音順)

【社会福祉功労者 56名】

秋元 傳	大賀 久枝	後藤 春導	鈴木 光子	辻野 秀敏	矢田部キサ子
秋元 久子	大木 弘子	後藤 昌弘	高根沢克恵	照井 浄子	山形 保子
秋元 安雄	大森 直枝	小林 光明	高橋 明	野澤磨智子	吉沢 勇子
新井 愛菜	大森 牧子	小林 光男	高橋 幸	福田 則子	吉澤ヨシ子
安斎富美子	岡本 幸司	小林 貢	高橋 年枝	堀 久美子	吉村 恒彦
石川 定女	長内 謙治	小針 公子	竹田 富子	松本 登吾	渡邊美智子
磯貝 キミ	川島 桂子	斉藤 佳代	田中 清子	松本 久	
薄井 亀	菊地美代子	齋藤 政子	千葉 政揮	村松恵美子	
枝 洋子	小口 秀子	酒井千恵子	塚田 英夫	室井 トミ	
江連 勇一	小白井敏子	佐藤 潤	塚田 洋子	守矢 進	

【社会福祉功労団体 3団体】

下田野旭会
第2長寿会
ファミリーボランティア那須美

【社会福祉団体の功労者 5名】

大武ツヤ子 高瀬 昌子 吉沢 一男
君島 玲子 人見 ヒナ

【自立更生者 3名】

栗田 とみ 富永 節子 古谷 照子

【長期介護者 2名】

江連 栄子 後藤 美紀



【篤行・善行児童生徒 39名】（学校順）

黒磯小学校	6年	沓掛 心	大貫小学校	6年	印南 穂和
稲村小学校	6年	平山 友唯	横林小学校	6年	風間 優輝
東原小学校	6年	松坂 直紀	塩原小中学校	6年	君島 季憲
埼玉小学校	6年	藤倉 琉成	黒磯中学校	3年	坂堂 杏月
豊浦小学校	6年	蛭田 千笑	黒磯北中学校	3年	遠矢 春乃
共英小学校	6年	関根 遥菜	黒磯北中学校	3年	西田 哲
鍋掛小学校	6年	茅根 実花	厚崎中学校	3年	上田 由彩
大原間小学校	6年	越沼みそら	厚崎中学校	3年	横山 慎平
波立小学校	6年	奥田 悠人	日新中学校	3年	石塚 政敬
高林小学校	6年	佐藤 優	日新中学校	3年	大島 隆靖
青木小学校	6年	船山 萊翔	東那須野中学校	3年	高野 響
三島小学校	6年	荒川 煌介	東那須野中学校	3年	田村 悠月
三島小学校	6年	齋藤 和花	高林中学校	3年	人見 京介
槻沢小学校	6年	宮澤亜純奈	三島中学校	3年	佐藤 亘
東小学校	6年	廣川 達也	三島中学校	3年	住田 衣緒
南小学校	6年	君島 心珠	西那須野中学校	3年	相馬純美怜
西小学校	6年	奥田 舞凜	西那須野中学校	3年	野中 優太
大山小学校	6年	今泉 惺	箒根中学校	3年	佐藤 温大
大山小学校	6年	進藤くるみ	塩原小中学校	9年	君島 空良
関谷小学校	6年	八木沢梨里花			



那須塩原市社会福祉協議会会長感謝状贈呈

（敬称略・50音順）

【高額寄附者個人、企業・団体等19】

宇都宮ヤクルト販売株式会社	和み歌謡教室
ガイアらくらく館黒磯店	那須塩原ソフトテニス連盟
黒磯山草会	那須塩原ダンス部
株式会社クワバラ・パンぱキン	なすの斎場グループ
高福寺	ニラク大田原加治屋店
古藤 涼・碧	株式会社ヒーローライフカンパニー
ZAPP黒磯	ブリヂストン労働組合栃木支部
ZAPP西那須野	南地区コミュニティ推進協議会
相馬 登	夢屋西那須野店
栃木県歌謡協会那須北支部	



那須塩原市老人クラブ連合会会長表彰

（敬称略・50音順）

【優良老人クラブ 1団体】

第5長寿会

【老人クラブ育成功労者 3名】

杉本 武司 : 富山 忠至 : 成田千鶴子

那須塩原市ひとり親家庭福祉連合会会長表彰

（敬称略）

【ひとり親家庭福祉連合会功労者 1名】

横内千恵子



ボランティアセンターだより

『ボランティア受入講座』

地域にやりがい・生きがいをもたらす「参加のチカラ」

～施設・団体におけるボランティア受入のススメ～

2月23日(土)東那須野公民館で、市内の福祉施設等の職員を対象に、茨城大学社会連携センター講師 土崎雄祐氏を迎えボランティアを受入れる体制づくりやボランティアとの関わりなどについて学ぶ「ボランティア受入講座」を開催しました。

この講座を開催したきっかけは、ある男性と話をしている時に「俺はボランティアが嫌いなんだ!」という言葉があったからです。なぜボランティアが嫌いになったのか理由を聞くと、災害ボランティアに参加した時に、活動中休憩を取ろうとしたら依頼者から「お前たちは、好きでボランティアをやっているのだから休まないで働け!」と心無い言葉を言われたからだそうです。

これまでのボランティア講座では、ボランティア活動をする方の育成を行ってきましたが、ボランティアが活動する受入れ側の理解や体制が整っていないとボランティア活動が広がっていかないと考えこの講座を開催することにしました。

今回の講座では、ボランティアを受入れる側は、『人手が足りないから』『無料でやってもらえるから』などとただ単に“労力”としてボランティアをお願いするのではなく『なぜ、我々はボランティアを求めるのか』『なぜ、人々はボランティアをするのか』その意味を理解したうえで受入れる目的を明確化し受入れ側全体でそれを共有することと、ボランティアに対し感謝の気持ちを伝えボランティアのやる気を引き出すことが大切なことを学んでもらえたと感じました。このような理解の広がりが、今後のボランティア活動の広がりとなることを期待します。



まごころありがとうございます 平成31年1月1日～2月28日寄附分

次の方々からあたたかい寄附をいただきました。〔()の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ		NPO法人ゆめがくどう (1回目) 4,533円	
三川和洋	(7回目) 30,000円	株式会社オカモト	(1回目) 100,000円
美容室 五番街	(51回目) 2,869円	あつさき公民館まつり実行委員会	(7回目) 43,054円
SUZUKEN 鈴木智	(1回目) 5,000円	公益社団法人那須塩原市シルバー人材センター	(3回目) 1,000円
歌の仲間竹の子の会	(72回目) 5,000円	福祉協力店	(2件) 9,056円
		匿名	(9件) 183,836円

善意銀行へ	
ニラク大田原加治屋店	(185回目) 菓子8箱
ガイアらくらく館黒磯店	(44回目) 菓子3箱
ZAPP黒磯	(110回目) 菓子1箱
ZAPP西那須野	(102回目) 菓子18箱
浅田勝子	(22回目) タオル30枚
コーヒーカップ&虹の会	(13回目) 車いす3台
大島里子	(1回目) タオル35枚、マスク4箱
南地区コミュニティ推進協議会	(15回目) ウェス24箱
栃木県立大田原高等学校	(6回目) 雑巾100枚
株式会社わかまつ	(1回目) Tシャツ・ポロシャツ58枚
本田生きがいサロンの会	(9回目) タオル210枚
匿名	(4件) おむつ類8袋、布おむつ74枚タオル55枚他

交通遺児基金へ	
那須塩原フライングディスク協会	(67回目) 1,500円
那須塩原交通安全チャリティフェスティバル実行委員会事務局	(6回目) 66,064円



株式会社オカモト 様



あつさき公民館まつり実行委員会 様



コーヒーカップ&虹の会 様



栃木県立大田原高等学校 様



那須塩原交通安全チャリティフェスティバル実行委員会事務局 様

いつもありがとうございます
ごさいます





あなたのまちの福祉協力店 No.5

※福祉協力店とは…地域での見守りや困りごとへのサポート体制をお互いさまの支援の仕組みとして、誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点をつくるために、地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録する制度です。



現在 85 の事業所が登録しているよ。どのような福祉協力店があるのか、シリーズで紹介していくね！

三鈴堂

「栃木県北で初のシニアシューズ専門店」

シリーズ5回目は稲村地区内にある「有限会社 三鈴堂」を紹介します。

「三鈴堂」は平成26年7月に福祉協力店となり、社協が発行する情報誌や募金箱の設置、ポスターの掲示に協力していただいています。

平成30年の12月に50周年を迎えた際、県北で初のTOKUTAKEブランド（シニアシューズ専門メーカー）の推奨店としてリニューアルしました。このシューズの良さは実際に履いてもらわないとわからない!!とのことでした。

福祉施設を利用されている方が、カタログで頼んだシューズを履いたら合わなかった、ということがあったそうです。そこで、150足の在庫を店舗に置き、試しに履いてもらおうと始めたそうです。つまづきやすい方、むくみのある方、左右違うサイズへの変更もご相談に応じます。

「暗い夜にあかりの灯るお店」

「ここに行けば何かある」

このようなお店を目指し地域に貢献しています。

その他、次のような社会貢献活動にも積極的に力を注いでいます。

① 三鈴堂たよりの作成

② 展示会を年2回開催 国際展示場で開催される福祉機器の中で気になったものを地域に届ける一歩として、事業所向けに三鈴堂事務所にて開催しています。

今後は、「あゆみnavi」といって立体的に足のサイズを計測する機器も導入する予定です。

利用される一人ひとりが快適に過ごせるよう不安に寄り添っています。

【有限会社 三鈴堂 黒磯店】

住 所／豊浦北町74-84
電話番号／0287-62-1754
営業時間／8:30~17:30
定休日／土曜、日曜、祝日



店内にはシューズが沢山!!

各自治会をはじめ多くのみなさまのご協力 ありがとうございました。

◎平成30年度社会福祉協議会会費 最終報告

特別会員（法人事業所） 9件 37,000円

敬称略（振込書の名称に基づいています）・順不同

【10,000円】（株）むつみコーポレーション

【6,000円】（有）ライフ那須

【3,000円】なすの動物病院／（株）ファミリーエクスプレス／（有）清華／心づくしの宿ぬりや／柴田金物店／（株）イフアンドリブ／アカデミア・キクチ

（平成30年11月1日～平成31（2019）年3月31日受付分）

昨年5月から平成30年度社会福祉協議会の会員加入のお願いをしたところ、各自治会をはじめ、多くのみなさまのご協力により、普通会費・特別会費・施設会費をあわせ12,470,100円（3月31日現在）となりました。

会費は、地域福祉事業を支える大切な財源です。2019年度の募集も5月から始まりますので、ご協力よろしくお願いします。

◎赤い羽根共同募金 11,662,364円

【法人募金】敬称略（振込書の名称に基づいています）・順不同

みやび観光バス／一代元黒磯店／（有）田建デンケン設計事務所／釜彦／（有）ぴっころもんど

（1月1日～3月31日 受付分）

10月1日から始まりました共同募金運動は、みなさまのご協力により多くの募金が集まりました。

赤い羽根共同募金は、県内の社会福祉施設の整備や地域福祉活動に充てられ、社会福祉の向上に大きな役割を果たしています。



◎歳末たすけあい募金 6,873,689円

歳末たすけあい募金は市内で生活に困窮している方々や福祉施設などへ配分されました。

◎日赤会費 11,579,100円

日本赤十字社では、毎年5月の「赤十字運動月間」にあわせて、「赤十字会員増強運動」を全国で展開しています。みなさまからご協力いただいた会費は、国内外における災害救護活動や社会福祉事業などに使わせていただきます。今年度もみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

日本赤十字社の「協力会員」とは、赤十字の人道的な活動に賛同し、目安として年額500円以上の資金協力をしていただく方のことです。個人・法人を問わず、どなたでも会員になることができます。赤十字事業の原動力であり、組織の根幹をなすもので、日本赤十字社では一人でも多くの方に会員になっていただけるようお願いしています。

2019年度の募集も5月から始まりますのでご協力よろしくお願いします。

◎日赤義援金

東日本大震災義援金	49,349円
平成28年熊本地震災害義援金	10,136円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	8,138円
平成30年大阪府北部地震災害義援金	59,178円
平成30年7月豪雨災害義援金	575,856円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	374,375円
2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金	50,000円

東日本大震災義援金	第13回チャリティハンドメイドマーケット	40,910円
	本会募金箱	266円
平成28年熊本地震災害義援金	本会募金箱	101円
平成30年大阪府北部地震災害義援金	本会募金箱	394円
平成30年7月豪雨災害義援金	塩原小中学校一同	25,456円
	元県北わたぼうしコンサート実行委員一同	200,000円
	募金箱（福祉祭）	834円
	第13回チャリティハンドメイドマーケット	40,910円
	本会募金箱	5,478円
	匿名	4,799円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	東遅沢ふれあい即売所	10,000円
	東三島自治会	100,000円
	元県北わたぼうしコンサート実行委員一同	130,000円
	那須塩原市職員労働組合 公益法人評議会	6,133円
	塩原認定こども園職員一同	10,000円
	三区町自治会秋祭り実行委員会	12,350円
	募金箱（福祉祭）	2,616円
	日之出水道機器 青年部 栃木	17,644円
	(有)橋本家畜診療所	50,000円
	西那須野松友会	20,000円
	本会募金箱	9,882円
	匿名（2件）	5,750円
2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金	(有)橋本家畜診療所	50,000円

平成30年9月1日～平成31（2019）年3月31日受付分（敬称略・順不同）

災害義援金は、日本赤十字社を通じて被災された方々へ届けられます。なお、東日本大震災義援金・熊本地震災害義援金・平成29年7月5日からの大雨災害義援金につきましては2020年3月31日まで、7月豪雨災害義援金につきましては2019年6月30日まで、北海道胆振東部地震災害義援金につきましては2019年9月30日まで、日本赤十字社にて受付を延長いたしました。引き続きみなさまの義援金へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域支え合い推進員 齋藤 は見た!!!

(西公民館区担当)



シリーズ⑥

このコーナーは、地域支え合い推進員が地域で取り組んでいる様々な活動を紹介します。

西公民館区では、平成29年度から始まった地域住民助け合い事業も2年が経過し、6自治会が見守り活動をスタートさせています。

2月5日、西公民館でコミュニティ主催の意見交換会が行われ、各自治会の代表者が出席しました。内容は、地域住民助け合い事業の説明(社協)、進捗状況及び活動状況報告(各自治会代表)、避難行動要支援者支援制度の説明(市社会福祉課)、最後にグループワークを行いました。

グループワークでは、これまで見守り活動をやって良かった事や課題について意見交換をしました。

良かった事では、「困っている事がわかった」、「つながりが濃くなった」、「訪問を喜んでいる」、「あいさつが増えた」、「自治会内で情報共有できた」等が出ました。また、「住民への周知不足」、「見守りを拒否する人をどうするか」、「誰もが負担に感じずやれるにはどうしたら良いか」等の課題も出されました。

意見交換会の中で、災害時に有効なのは日頃からの活動であるというお話がありました。この地域住民助け合い事業をさらに充実、継続させて互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域を創っていきましょう。



※地域支え合い推進員とは…

那須塩原市では、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活がおくれるよう、平成27年度から5年間かけ市内15の公立公民館の圏域ごとに地域住民助け合い事業を進めており、この事業を推進するため、各公立公民館に「地域支え合い推進員」を配置しています。

今後もあなたの地域の「宝物」となるような活動を見つけに行きます!



生活困・Q・係から…

～生活困窮者自立支援に向けて～

仕事に行くことが怖い…

近所の人に勧められて…

40代の男性Dは父親と2人で生活していました。2ヶ月前に父親が急死。仕事に就かず、父親の年金で生活していたDは、お金が底をついたことから、近所の方に相談をしたところ、社協に行くように言われたとのことでした。

人と話すことが怖い…

父親が亡くなった後、他県に住む姉にお金の相談をしましたが、仕事をするように言われてしまいました。しかし、Dは仕事に対して強い不安を持っていました。工作中、ミスを繰り返し、上司から怒られたことが今でも忘れられないと言います。それがきっかけで人と話すことが怖くなり、他の従業員とも話ができなくなったそうです。その後、仕事をせず、家にいましたが、厳格だった父親から働くよ

Qっていうのは
クエスチョンのことだよ!!



Vol.⑥

うに言われ、何とか父親の期待に応えようと考えましたが、就職しても失敗が続き、長続きしません。徐々に居場所がないと感じたDはギャンブルにのめり込んだときもありました。そして、父親が亡くなった後は、落ち込んでしまい、身動きが取れない状況に陥ってしまったのです。何度も面談を繰り返す中で、Dは、父親の期待に応えられなかった後悔とこの後の不安を口にしていました。

自立に向けて

最近では、近所の方や友人もD宅を訪れるようになり、人と話をするようになりました。周りから支えてもらっていると感じたDは、対人関係に不安を持ちながらも、ハローワークに行くことを決意し、少しずつ仕事探しを始めています。まだ、仕事は決まっていませんが、多くの人に支えられたことで、自立への意欲を高めることができました。

自分自身、家族のこと、地域で気になる人のこと、どんなことでも先ずはお話を聴かせてください。私たちと一緒に考えましょう。
那須塩原市社会福祉協議会 生活支援係 TEL：0287-37-6833（直通） ☒：seikatsu@ns-shakyou.jp

